

たきこみごはん

全国福祉保育労働組合
東海地方本部 障害協議会NEWS
2008. 9. 22
Vol. 18

名古屋市交渉に参加して

さる9月10日（水）、東海地本の障害者分野の名古屋市交渉が、名古屋市役所の会議室でおこなわれました。名古屋市からはお忙しいにも関わらず、課長・係長はじめ7人ほどの参加。そして労組の障害者関係の職場からは、仕事を終えた後のお疲れのところ30名ほどのみなさんが参加されました。

大きくは、①国への要望、②名古屋市への要望の項目で書かれ、あらかじめ提出してあった名古屋市要求書の回答を受けた後、職場の労働実態や利用者の生活実態などを訴えました。

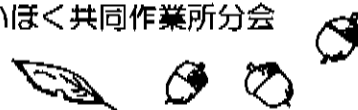
応益負担の問題や報酬単価アップについては、「名古屋市としても改善の努力をしている」こと（例えば負担軽減策を行うなど）、「国にも（厚生労働省の役人にも）強い口調で言っている」など、共感できる発言もありました。一方で、みなと福祉会からは、「1人の職員が10数人のケースを抱えて、休日出勤して個別支援計画の作成をしている」などの発言もある中で、私たちの厳しい職場実態についてまだまだ理解や実態把握が不十分ではないか、と思えるような名古屋市からの発言もありました。

来年は自立支援法3年目の見直しの年でもあります。この名古屋市交渉をきっかけに、今こそみんなで声をあげ、利用者やその家族、職員・施設など、みんなの思いが反映される制度にしていかなければ…と思います。

今回、めいほく共同作業所分会からは新人分会員の参加がありました。

「組合の質問に対し、結局名古屋市がどうするのかという話があまり聞けなかった。国のせいばかりにしているのではないか。名古屋市としても何か対策をしてほしい。組合からの質問に対して、同じ人からの回答が多く、他に座っていた人の意見も聞きたかった。」との感想もいただきました。

めいほく共同作業所分会



市交渉を終えて

9月12日(障害児)の交渉には、日頃の思いをみんなで訴えに行きました！子どもたちのために、現場の声を届け続けていきたいです。

お疲れさまでした。ちよだの5号館、通園、リハ派遣、栄養士、グループ等々からの地域格差の矛盾を受けている子どもたち、お母さんたちが、また1年がまんしなければいけないと思うととても悔しいです。今からできること—運動—働き—を、みんなで智慧を出していきましょう！

市側の回答は同じようなことばかり。以前、保育の現場に実際に来てもらい見てもらったことがありますが、そんなことは無理でしょうか？重点を絞って交渉するとか、どうにかしていきたいですよ！お疲れさまでした。

「予算がないから」「これは担当が違うから」この答えが繰り返されることに「名古屋市は子育て支援を頑張っている」との行政側の言い分の食い違いに腹がたつばかりです。子どものため、家庭のために頑張っていきたいですね。

今までの市交渉のなかで一番腹の立つ交渉だったかなというのが正直な感想。切実な思いを伝えても、「予算がない」の返答。あつたに通う子どもたちのことを考えると今でも逆にもっと強くこちらの思いを伝えていこうと思いました。

子どもたちにとっての給食の大切さや働きを認めておきながら、現場任せな回答に怒りと悔しさが爆発しました。あまりに無責任すぎます！今後もみんなで名古屋市に訴えていきます！！

あつた分会
みんなの声！

9月19日、障害児の市交渉が行われました。民調、兄弟減免、5号館設立、栄養士、おひさま問題などについて名古屋市の方から回答をいただきました。

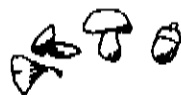
回答は明るい見通しが持てる回答もあれば、毎年と変わらない回答も多く聞かれました。中でも、発達センターあつたの「栄養士」についての要求は、職員の方が実際の栄養士の実態などを涙ながらに話をされていたのが印象的でした。みんなの前で自分の思いを伝えることはとても大変なことだと思いますが、その方の思い、そして私たちの思いが少しでも名古屋市の方に伝わると良いと思います。

市交渉を終えて分会員から多く意見が聞かれたのは、「5号館設立」についての解答です。「設立しようと思っている。土地を探している段階だ」という名古屋市からの回答が数年続いていましたが、今年度は「土地の候補は上がっている」との回答をいただきました。しかし、この回答をマイナスに捉えた分会員からは「本心が見えない」「もっといろいろ決まってから伝えて欲しい」とより具体的な動きを求める声が聞かれました。

今回障害者の市交渉でも障害児の分野から発言をしていきました。障害者の市交渉は、障害児の市交渉とはまた雰囲気の違い、本当に大変な状況だということを改めて考えさせられました。福祉の情勢にどう訴えていくのか、また一緒に考えていけたらと思いました。

今回、業務の関係で、そよ風分会は遅れての入室となりました。大変申し訳なく思っています。市交渉は、毎年の職員の訴えから市を動かした経過もあり、とても大切なものだと思います。また、明るい回答をいただけると、私たちの元気にもつながります。市交渉の大切さを再確認して、これからも市に様々な現場の声、子どもたちの声を積極的に届けたいと思います。

そよ風分会 今浦香織



☆たきちゃんのシネマパラダイス☆

たきちゃんのシネマパラダイス

「ブロークン・フラワーズ」 2005年

監督：ジム・ジャームッシュ

2005年のカンヌ国際映画祭で審査員特別グランプリをとった作品です。主人公は53歳になったビル・マーレイ。どんづまり中年男をやらせたらピカイチです。ある日、そんな男のもとに、19歳の息子がいると知らされ、これまで関係した女性を訪ねて旅する、ロードムービーです。

もう本当に情けない！の一言につきる主人公の中年男。見ていくうちにさみしくて、悲しくて・・・

でも見終わるとしょうがないな～、現実ってこういうものだよねと、そんな人生でもがんばれ！と主人公に思い、自分にもいろんなことあるけどがんばれと応援したくなる映画です。

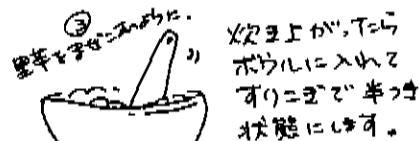
手作りおやつはいかが？ 里いも入りおはき

＜材料＞8人分

もち米 … 1カップ
里芋 … 100～150g
あん … 200g
きざ粉 … 適量

＜作り方＞

- ① もち米はといておきます。
里芋は皮をむき、小エグ
の乱切りにします。
- ② 炊飯器の釜にもち米、
水1カップと里芋を入れ
炊き上げます。



小さい団子は
あんこで包む。

大きい団子は
あんこを中に
入れてすりこぎ
でつぶす。

里芋をわおろして翌日まで
やわらかく、もちりとした食感が楽しめます。

しずかなきもち

ゆうぐれって、すき？それとも、きらい？
こどものころ、ぼくはりょうほうだったな。
あそんでいたともだちとわかれて、ひとりになるのはつまらなかったし、
だんだんくらくらなくなってくると、おばけがでるんじゃないかとこわかった。

でも、ゆうやけがきれいだと、うれしかった。
いちばんほしを、ともだちよりさきにつつけるのも、
うちのあかりがみえて、ばんごはんはなにかなあってかんがえるのも、
たのしかった。
いまだと、テレビみるのもたのしみだね。

ひるまはむちゅうになって、いろんなことして、きもちもいそがしかったけど、おひさまがしずんでいくと、ひるまみえていたものが、みえなくなってきた、きもちもなんだかしーんとしてくるね。

そのしずかなきもちには、ちょっとさびしいところもあるんだけど、
ひるまのじぶんとはちがう、もっとおおきなじぶんになったようで、
ふすぎなきがする。

でも、せかいには、かえるうちもなく、
まっいてくれるおかあさんもいない、こどもだっているんだ。
そんなこどもたちも、ゆうやけのうつくしさを、よろこんでいるだろう
か、あしたがるのを、たのしみにしてるだろうか。

たにかわしゅんたろう

秋晴れの気持ちいい空。夜には虫の声が聞かれるようになりました。
焼きだての秋刀魚にすだちをぎゅっとしぼって。ホクホク黄金色のやきいも。
みずみずしい梨や蜜の入ったりんご。そして、びかびかの新米。景色と味覚に
癒される季節。お～、体重計がこわいよ～・・・う、運動の秋ですね・・・。K

みなさんの投稿をめちゃくちゃお待ちしております。
ご意見、ご感想もお気軽にお寄せください！
E-mail takikomigohan06@yahoo.co.jp

